

川口駅周辺再整備の事業費圧縮と 市民の声をいかしたまちづくりを

9月市議会の一般質問の一部を要約して報告します

1、川口駅中距離電車停車にかかわる事業費の圧縮を

【問】川口駅への上野東京ライン停車と駅舎改修は、ＪＲ東日本と「基本協定の締結」がされたが、今後の費用負担として市の負担を心配する声がある。ホーム増設と駅舎改修に約430億円とのＪＲの試算があるが、今の物価高騰と労務単価の上昇を考えれば430億円を大きく超える。川口駅を利用しない市民も多く、地域間での交通格差に不満を持つ人もいる。駅舎を利用して収益を得るのはＪＲ東日本であり、多額な自治体負担とならないようにするため、市の費用負担を縮小できるような働きかけを。

【答】今後の基本設計・詳細設計の過程で市の費用負担の圧縮方策の検討は極めて重要。ＪＲ東日本側とは、お互いに協力し全体事業費の削減を目指し検討する必要性について認識を共有している。市民の理解を得られる計画となるよう十分検討し協議する。

2、駅周辺のまちづくり指針の策定にむけて

【問】川口駅周辺在り方検討委員会で、川口駅周辺まちづくりビジョンの具体化方針や駅前広場等の在り方などバリアフリーや、公共交通ネットワーク、官民連携など多岐にわたる内容を含む「取り組み方針案」が示される。川口駅再整備に加え、駅周辺再整備への公的投資を市民が容認するのか疑問がある。市民の心配は市としての事業費負担や市民生活への影響で、今後、駅周辺のまちづくり指針を検討する際に、市民の声を聴くこと、事業費の見通しなど常に市民に開かれ声が活かされる議論が必要と考える。

【答】川口駅周辺在り方検討委員会で専門的な知見で駅周辺への課題や必要な機能、官民連携により行うべき取り組みの方針について整理し、まちづくり指針の素案を今年度内の策定にむけ検討している。今後街づくり指針案を市民に分かりやすく示しパブリックコメントを実施する。その後の各取り組みの具体化にも市民の意見を頂く方法を検討していく。

私たちが希望を示す言葉を持つことが大切 あらためて、多くの人たちと 日本国憲法の学習を

川口市では1月25日告示、2月1日投票で市長選挙・市議補選が実施される予定です。9月20日、川口市民のための明るい市政をつくる会は「多文化共生とは?! 川口市における多文化共生を考える」として学習集会を開催しました。講師には大東文化大学の渡辺雅之氏を迎えました。

渡辺氏は、2024年7月の石丸現象、2024年11月の兵庫県知事選、2025年1月の戸田市議選などを考えると「あなたを含めた困っている人たち全員を救います」というメッセージの政治家よりも「実はあなたより優遇されている人たちがいるんですよ。そいつらを罰します」という政治家に投票する人が多い。トランプもそれで票を集めた。とする映画評論家の町山智浩氏のSNS投稿を示して、そういうことでよいのかと問題提起しました。



また、こうした現状に絶望する市民もいるかもしれないが、声をあげ、闘いをやめないことが大切と述べました。そして極右・排外主義への闘いは路上・ネット空間におけるカウンターなどの対処的アプローチや、学びの場づくりや文化的暴力に対抗する知と文化の振興をはかるなどの根本的アプローチが大切であるとししました。

最後に、選挙結果や極右・排外主義の台頭について、闘いの中で、私たちが希望の言葉を示すことの大切さが呼びかけられ、以下のポイントが示されました。

- もう一度、多くの人たちと日本国憲法の学習を
- 日常のつぶやきから対話をしよう
- 組織として抵抗の声をオフィシャルにあげよう
- 個人として声を届けよう



2025 年 9 月 28 日 No.1807
日本共産党川口市議会議員団
川口市前川 2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

第27回 川口市障害者週間記念事業 ～ハートフェスタ～

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。「障害者週間」の期間は、毎年12月3日から12月9日までの1週間です。この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等においては、様々な意識啓発に係る取組を展開します。

【日時】2025年10月18日(土)11時30分から15時30分

【会場】川口駅東口公共広場(キュポ・ラ広場)

【イベントの内容】 授産製品の展示や販売・パネル展示・相談コーナー
豚汁の無料配布
体験コーナー(手話・フライングディスク・補助犬)

【ハートフェスタ イベント参加団体】

- ♥ 社会福祉法人 川口市社会福祉事業団 夢工房・きじばと
- ♥ 社会福祉法人 かわぐち手歩の会 ♥ NPO法人 あみくるDays
- ♥ 社会福祉法人 みぬま福祉会 川口太陽の家
- ♥ 社会福祉法人 鳩ヶ谷ほっとすてーしょん
- ♥ NPO法人 自立 チャレンジド ♥ 川口市精神障害者家族会 わかば会
- ♥ 一般社団法人 川口市身体障害者福祉会 ♥ NPO法人 ネットワーク あゆみ
- ♥ NPO法人 ヒールアップハウス 晴れ晴れ・のびのび・にちにち
- ♥ 一般社団法人 タカマーミ川口
- ♥ 社会福祉法人 あかぼり福祉会 ゆりヶ丘学園・あさひあ〜と
- ♥ 労働者協同組合 ワーカーズコープ たいむ
- ♥ 川口市心身障害福祉センター わかゆり学園
- ♥ NPO法人 ラッコの会 パンラッコ ♥ 社会福祉法人 ごきげんらいぶ
- ♥ NPO法人 いちご福祉会 コットンハウス
- ♥ カフェ&ふれあいショップ ふらっと ♥ 社会福祉法人 ひらく会 みんと

精神障害者保健福祉手帳2級の方で 自立支援医療の精神通院医療費

令和8年1月1日から 重度心身障害者医療費助成制度の対象に

埼玉県が重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱を見直したことから、川口市は精神障害者保健福祉手帳2級の方で自立支援医療の精神通院医療にかかる方に限り、川口市重度心身障害者医療費の助成対象に加え、令和8年1月1日から施行する予定です。(9月市議会で議案が可決される見込みです。)

問 精神障害者保健福祉手帳2級の方の医療費助成は、どのような医療が対象となりますか。

答 精神障害者保健福祉手帳2級の方で、自立支援医療の精神通院医療にかかる方が対象です。例えば、今まで医療費負担が3割の方だと、その内自立支援医療分が2割、自己負担分が1割でしたので、自己負担分が助成対象となり、通院医療の窓口負担がなくなります。

問 この制度の申請は必要ですか。

答 対象者には、川口市から申請書が郵送されます。申請書が届いたら、すみやかに川口市へ申請書等を提出してください。その後、川口市は受給資格の登録作業をすすめ、申請者のみなさんに「重度心身障害者医療費受給者証」を発送します。令和8年1月1日の前に受給者証が届くように手続きを済ませましょう。申請がなければ、制度の対象であっても「受給者証」は発行されないなので、ご注意ください。

問 なぜ、今回の対象拡大につながったのですか。

答 精神障害者家族会の方々は「医療費助成の対象を精神障害者保健福祉手帳2級保持者まで拡大してほしい」と繰り返し(10年以上)県に要望してきました。県議会は2021年9月議会で「重度心身障害者医療費助成制度における支給対象者の拡大を求める決議」を全会派一致で決議しました。助成制度の事業費は県と市で2分の1ずつ負担し実施されます。